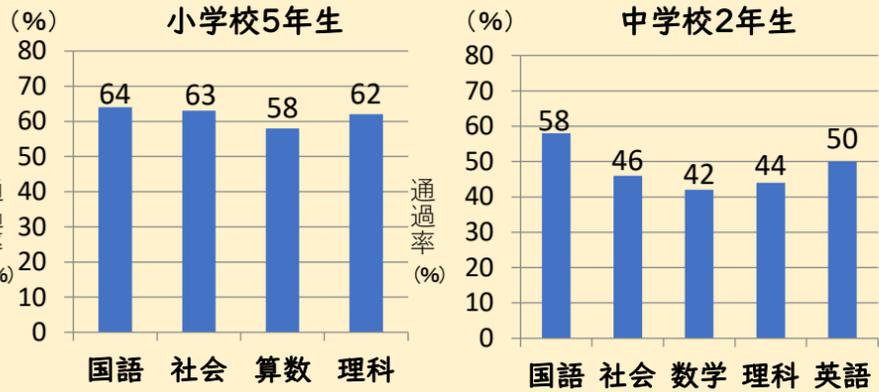


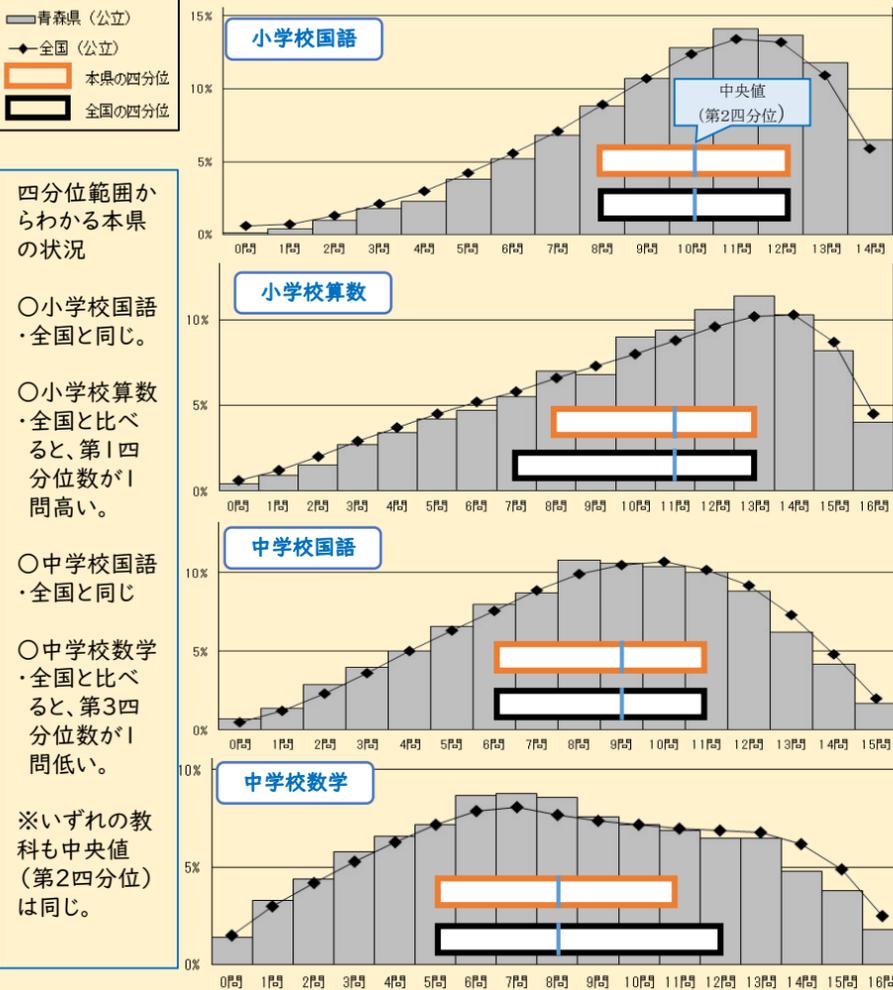
令和5年度県学習状況調査から



教科によって差はあるものの、全体を平均としてみると、小学校では約6割、中学校では約5割の通過率でした。  
各校では、このことを踏まえ、各教科の自校分析を基に、実施報告書を活用しながら指導の改善に取り組むこととしていました。

今回調査の状況(教科に関する調査)

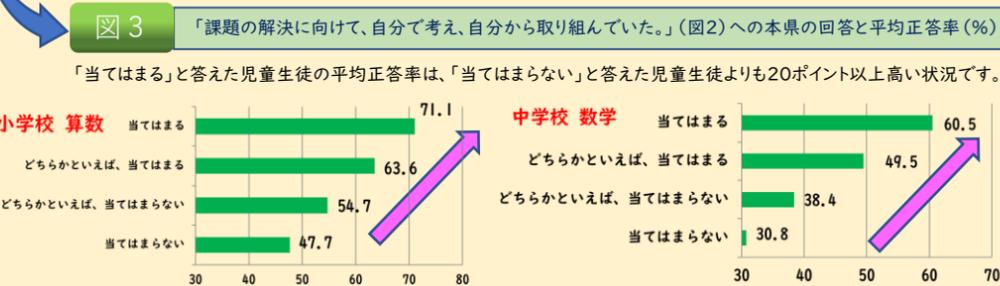
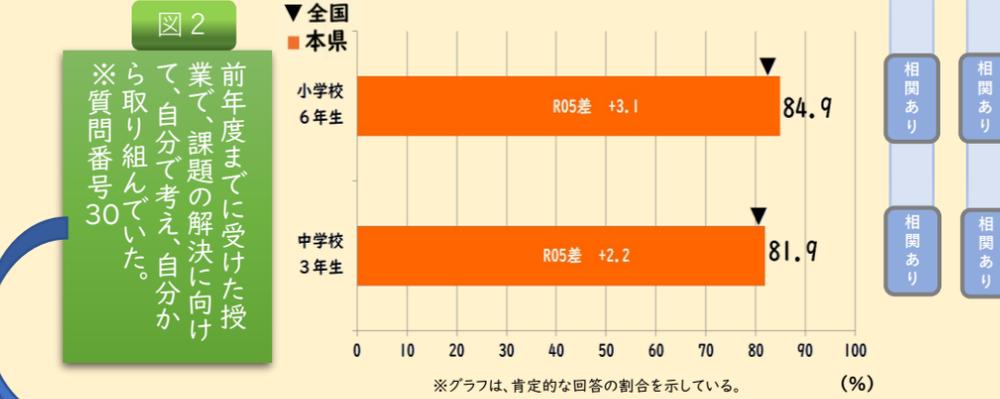
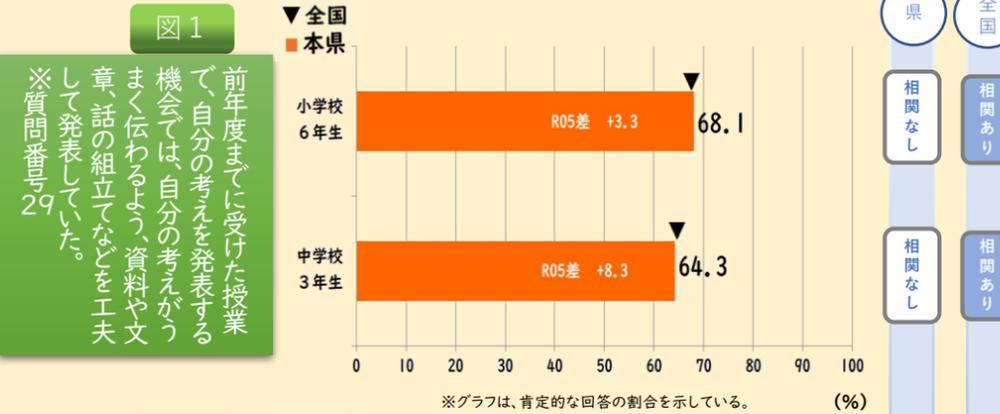
正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



授業への取組状況(児童生徒質問調査)

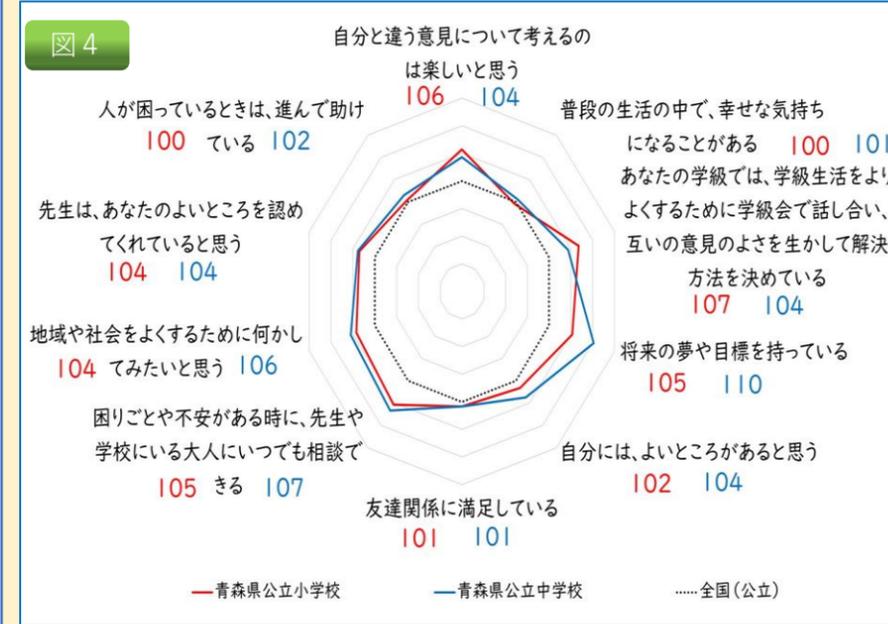
下の図1~2は児童生徒質問調査への回答と、正答率との相関関係の分析を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善として、次のようなことが考えられます。

- 図1について  
図1から、本県の肯定的な回答割合は全国とほぼ同じであることが分かります。一方、この質問と正答数の相関関係を調べると、全国と本県で違いが見られます。今後の指導では、肯定的回答の中に教科調査の成績が低調な児童生徒が含まれていないかを確認し、自分の考えが適切に伝わるよう、どのような工夫をしているのかを観察し指導することが重要です。
- 図2について  
図2から、本県の肯定的な回答割合は全国より上回っていることが分かります。また、この質問と正答数の相関関係は、全国と本県で同様となり、今後も課題解決に向けて自ら考え、取り組めるような授業づくりを継続することが大切です。  
また、図3からも小中ともに肯定的回答の方が、正答率が高いことが分かります。



こどものウェルビーイングに関連すると考えられる項目

下の図4は児童生徒質問調査から、こどものウェルビーイングに関連すると考えられる項目を取り出したものです。小・中学校ともに全国平均をほぼ上回っている状況となっておりますが、この点については、なお一層取組を推進する必要があると考えています。  
今回の調査で、授業改善とウェルビーイングが結びついていることが明らかになっておりますので、日々の授業改善に今後も取り組むことが大切であると考えます。



※数値は全国(公立)を100とした時の青森県(公立)小学校及び中学校の状況を、(本県の肯定的回答数)÷(全国の肯定的回答数)×100で示したものである。

今後の指導の改善のために

県教育委員会では、県内の各学校の参考となるよう、本県の結果と分析について報告書を作成しております。報告書は右の二次元コードから御覧いただくことができます。

調査で見られた課題の解決を図るために、対象学年だけでなく学校全体で組織的・継続的に取り組めるよう、授業の改善・充実を図る際の参考となる指導例を作成しております。指導例は右の二次元コードから御覧いただくことができます。

国立教育政策研究所では、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業アイデアの一例を示しています。右の二次元コードから御覧いただくことができます。

